

地域協働学校だより No.10

令和4年1月12日
新宿区立市谷小学校
地域協働学校運営協議会

12月15日(水)から18日(土)まで開催された展覧会にご覧になられたでしょうか？魅力満載の作品が所狭しと並びました。地域協働学校で取材させていただきましたので、その様子をお伝えします。



令和3年度 展覧会



傘にはまるで6年生本人がぶら下がっているかのような写真が。

受付の先生や、主事さんに検温していただき、手のアルコール消毒をして入場しました。来場のみなさんも、もうこのスタイルに慣れたようでスムーズに入場されていました。

体育館に入ると、たくさんの傘がつるされているのが目に飛び込んできました。6年生「傘をさすのもいいな」の展示です。こんな楽しい傘があれば雨の日もウキウキでおでかけできそうです。「生活を豊かに ソーイング」では、ナップサックに細かいクロスステッチが施され、「お店の商品みたい！」と保護者の方々が驚いていました。「コマ撮リアニメ集」では文房具など身近なものを使った作品からイラストで戦いなどを表現した作品など、6年生とは思えない素晴らしいアニメがたくさん上映され、ICT教育をうまく利用した作品作りとなっていました。

1年生の絵が描かれた紙コップを見つけられたでしょうか？「ならべて つんで」です。「あ！こんなところにも！」りんご、キャンディー、お花などが描かれ宝探しみたいでした。「のってみたいないきたいな」は、背景の上に、切り抜いた思い思いの乗り物を乗せているんですね。同じ紙に描くよりはっきりとした印象になり、絵本を見てるようでした。「まほうのおかし」では願いの叶うかわいなお菓子とそのメニューが並びました。

テーマ 「 描く力 つくる力 」

ステージ両脇の用具室からは用具がすっかり運び出され5年生の「黒と影の部屋」が展示されていました。「黒の部屋」の作品は、蛍光塗料を段ボールに塗り、ブラックライトを当ててどう見えるのか試しながら仕上げたそうです。「影の部屋」では、プラレールが懐中電灯をつけて天井を走っているのにびっくり！動く展示にアイデアが光ります。家庭科の「ミシンでソーイング」では写真を手書き風加工した自分の顔にリメイクマスクを展示。なかなか個性豊かです。2日目には詰め物を増やすなど、表現の追求は止まりません！

3年生の「まぜて つくって 土の絵」では自分で集めた石や砂、土に洗濯のりやボンドと、粉絵の具を混ぜて好きな色を作ったそうです。指で混ぜて画用紙に乗せて絵を作り上げていました。自作した絵の具の感触はどんな



5年「影の部屋」。「みてみて！影がうつってる！」



5年「黒の部屋」蛍光塗料で光る作品に囲まれ、異空間に入ったよう。



1年生「のってみたいないきたいな」とてもいきいきと描かれていて、絵本に出てきそうです。

感じだったのでしょう。コリントゲームは3年生みんなの作品をつなげることで、とても長い大きな作品になっていました。園児さんに大人気で、長い渡り廊下を何度も往復して、ビー玉の入った箱が空になるほど楽しんでいました。共同で作った作品が見られるのも展覧会の醍醐味ですね。「くしゃくしゃ新聞アニマル」はうさぎ、猫からへび、ワニなど多彩な動物たちが並びました。ちゃんと4本足で立たせるなど、難しい形にも挑戦していました。

2年「ざいりょうから ひらめき」の材料は、おうちからのラップ、リボン、果物の緩衝材、ボタン、ひも、毛糸、ペットボトルのフタ、アルミフویلなどなど。材料をいったんくしゃくしゃにして使うなど、とても工夫して制作していました。また、運動会で使用したペットボトルのマラカスがつけられ、飾りに生まれ変わっていました。運動会でも展覧会でも活躍した作品に愛着がわきますね。

4年「さわりごち いい感じ」木材に触ると、思いもよらないほどつるつる！ やすり掛けでこんなにもなめらかになるとは驚きです。小さい子から大人までみんな感触を試していました。「木を切ったワー」では、背の高い力作がたくさん。道路が描かれた台紙の上に人や自転車なども配置されて、タワーの街が出来上がっていました。材料の木材は大きさも形も様々。無造作に積み上げているようで、実は絶妙なバランスが計算されている！？

展示のサインに掲示されたQRコードを読み込むと、子どもたちが一生懸命取り組んでいる様子が見られました。「なるほど、そうやってつくったのか」と作品への興味も深まりました。別のQRコードでは、設営の様子がタイムラプスになっていま

した。体育館全体がアートになっていく様子が凝縮された映像になっていて、ずっと見ていられます。菅野先生にすばらしい展示ですね、とお話すると、「でもまだ使える空間があるんですね。」そんな先生のより良いものを追求する姿勢に感服します。コロナ禍でなかなか実施できなかった異学年交流も「ペア学年での鑑賞」という形で少しずつ実現しています。児童のみな

2年「くしゃくしゃ ぎゅ」カメやペンギン、おたまじゃくしに似た独特で個性的なお友だちがたくさん。左は「巨大クワガタ」と「図形がめ」。いい友達になれそう。

んにとって一段と実りある展覧会になったのではないのでしょうか。ごく一部しか紹介できませんでしたが、児童のみなさん、先生方、楽しい展覧会をありがとうございました。



1 年「まほうのおかし」自分で作った色で、どの作品もカラフルなお菓子に変身！ 絵の具を練りこみながら魔法をかけていたのです・・・



3 年「くしゃくしゃ新聞アニマル」なかなか味のある動物たちが・・・語りかけてきそうでした。



3 年「コースはつづくよどこまでも」大久保通側の渡り廊下に展示された超ロングのコリントゲームは、「ビー玉かして～」と、園児さんで大賑わい。



2 年「ざいりょうから ひらめき」身近な材料で作る柔軟な発想の作品が並びました。



4 年「木を切ったワー」のそき込むとミニチュアの街に入り込んだよう。作りこみも高学年らしく細かい作業の作品も見られました。



サインに QRコードが掲示されていました

4 年「さわりごち いい感じ」。「つるつるだ！」みんなで触って確かめていました。



QRコードを読み込むと、スライドショーが流れました。（画面は1年生）